# 2026年　第1回　聖隷看護小規模多機能運営推進会議 議事録

**日時：2026年5月14日（木）14：00〜15：00**
**参加者：武社協副会長米山氏・横須賀愛光園園長髙橋氏・西第二地域包括世古氏・近藤・樋口・角井（司会/書記）**
**欠席者：西第一地域包括髙橋氏**

**議題一覧**

1. 4月の運営状況報告
2. 各サービスの利用状況
3. 看護と介護の連携事例
4. 外出レクリエーション実施報告
5. 訪問美容サービスの試行開始
6. 事故報告（2件）
7. 研修予定
8. 5月の新規利用者・相談状況
9. その他

---

**1. 4月の運営状況報告**

・2025年度利用者数は19名から24名で推移しており、現在は19名となっている。2025年の秋以降人数の増加に伸び悩んでいる状況。
・平均介護度は2.8前後で推移。
・新規利用者は0名、終了者は1名（グループホームへ入所）。
・横須賀市・三浦市・葉山の看護小規模多機能連絡会では、他の6事業所も定員割れしており、利用者確保に苦労している状況が報告された。

---

**2. 各サービスの利用状況**

・3月と比較して4月は泊まりが増加、通いも増加。その結果、訪問件数が減少している。泊まりの増加は意図的なものではなく、通いと泊まりが増えれば訪問が減るという自然な現象。

---

**3. 看護と介護の連携事例**

・日曜日にヘルパーが利用者宅を訪問した際、胃瘻が外れかけているのを発見し、訪問看護に連絡して緊急対応を実施。
・泊まり利用中に利用者の体調変化があった際、看護師に連絡して薬の指示をもらい実施。連携により利用者に負担をかけずに対応できた。

---

**4. 外出レクリエーション実施報告**

・4 月に車椅子の方 2 名と職員 2 名でソレイユの丘へネモフィラ鑑賞に外出。

・1〜2 時間程度の外出で、コーヒーを飲んで休憩。

・利用者は非常に喜ばれ、「昔行ったことがある」などの会話があった。

・写真をホームページに掲載することを検討。

・5 月は運動会を室内で予定。6 月はしょうぶ園への外出を予定している。

**質疑応答**

・【質問】写真をホームページに載せてもよいか。

・【意見】後ろ向きの写真など、記念写真以外の自然な写真が良い。

・【意見】車椅子対応の車両があれば外出の幅が広がる。

・【意見】車椅子を 3 台積めるレンタカーもあるらしい。

**決定事項**

・特になし。

---

**5. 訪問美容サービスの試行開始**

・4 月から訪問美容サービスを試行的に開始。

・月 2 回（第 2・第 4 木曜日）、1 人あたり 10 分程度実施。

・1 回目はマニキュア、2 回目はハンドトリートメント、3 回目（本日）はメイクと写真撮影。

・当初消極的だった利用者も、実施後は非常に喜んでいる。

・女性利用者は特に好評で、家に帰ってからも話題にしている。

・男性利用者には整髪などを実施。

・6 月まで試行し、その後継続を検討予定。

---

**6. 事故報告（2 件）**

**事故 1：4 月 3 日 朝 4 時**

・女性利用者がベッドから転落。

・センサーの反応がなく、巡回時にベッドサイドに座っている状態を発見。

・本人はトイレに行こうとしたと説明。

・頭部打撲はなく、外傷もなかったため経過観察。

・その後、巡回回数を増やして対応。

・看取りの方で薬の関係で夜間は朦朧としている状態もあり、行動予測が難しい。

・部屋の鍵を閉めてしまうため、すぐに対応できるよう鍵を開けておくよう依頼。

**事故 2：4 月 29 日 朝 9 時 45 分**

・送迎後、エレベーターを降りて数歩進んだところでバランスを崩して前のめりに転倒。

・久しぶりの利用で身体状況の情報が不足していた。
・膝や頬に発赤があったが痛みはなし。
・頭部を床に打っているため、家族に状況を伝え、翌日受診。
・受診結果は異常なし。
・現在も利用継続中。

**質疑応答**

・【意見】普段は自転車に乗るなど元気な方だったため、転倒は予想外だった。

**決定事項**

・自立歩行の方であっても、久しぶりの利用の際は状態観察も含めて、見守りを実施。

---

**7. 研修予定**

・管理者が 6 月に看護小規模多機能管理者研修を 2 日間受講予定。

**質疑応答**

・特になし。

**決定事項**

・特になし。

---

**8. 5 月の新規利用者・相談状況**

**新規利用者**

・ショートステイ利用希望の方が 1 件。
・ケアマネージャーから、通常のショートステイでは夜間の職員配置が 10 対 1 以上で転倒リスクがあると説明を受け、看護小規模多機能（夜間最高 5 対 1）の利用を決定。
・娘が介護しているが腰痛がひどく、ショートステイ利用を希望。
・看護師が見学を勧め、親戚の包括職員からも勧められた。
・転倒リスクについては家族に説明済み。

**相談中のケース**

・西第一包括の髙橋氏からの相談で、要介護 1 の方。
・ヘルパーサービスでは対応が難しい内容（雑用など）の希望がある。
・息子 2 人が県外在住。
・本人に精神疾患があるため、ゆっくりアプローチ中。

**その他の相談**

・ホスピス入院予定だったが元気になり、一旦在宅に戻って看護小規模多機能を利用中の方がいる。
・池田町からの相談があったが、送迎距離あるため対応が難しい。現在検討中。

**質疑応答**

・【質問】地域から入ってくる方はどこからの紹介が多いか。

・【回答】訪問看護師が関わっている方で、今のサービスでは難しいケースが多い。
・【意見】訪問看護から紹介されると、ケアマネージャーとしては利用者を失うことになるため難しい面もある。
・【意見】病院の相談室や老健にパンフレットを配布し、使い方を紹介すると良い。
・【意見】介護度が低い認知症の方へのアプローチが難しい。
・【意見】安否確認から始めて徐々にサービスを導入する方法が有効。

**決定事項**

・病院の相談室などへの営業活動を検討する。

---

次回開催日　2026 年 7 月 9 日（木）14：00〜15：00

以上